※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで学習したことを発展させて、古典や現代の書の作品を通じて、幅広い書表現を体験し、習得しましょう。
・作品制作では習得した技術を生かして、普遍性を大切にしながらも個性を感じられる魅力ある作品を制作できることを目指します。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。（知識） ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。（技能）	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書・篆刻	五書体の古典の鑑賞と臨書 篆刻 作品制作 相互批評会	a:各書体の美や用筆法などについて理解している。(知識) a:各書体や篆刻の美しさを効果的に表現するための技能を身に付けている。(技能) b:各書体の用筆法を意識し、バランスのよい構成を考え、個性豊かな表現を工夫している。 c:各書体の表現や鑑賞に主体的に取り組んでいる。	作品	ワークシート 相互批評 作品	ワークシート 作品
2学期	仮名・漢字仮名交じりの書	仮名の古筆の鑑賞と臨書 漢字仮名交じりの書の学習 作品制作 相互批評会	a:仮名や漢字仮名交じりの書の用筆や構成美、墨の潤渇などについて理解している。(知識) a:仮名や漢字仮名交じりの書を表現するための技能を身に付けている。(技能) b:仮名や漢字仮名交じりの書の効果的な構成を考え表現を工夫している。 c:仮名や漢字仮名交じりの書の表現や鑑賞に主体的に取り組んでいる。	作品	ワークシート 相互批評 作品	ワークシート 作品
3学期	漢字仮名交じりの書の創作	色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿 練習 色紙への清書 相互批評会	a:色紙作品の多様な構成美、文字の大小の変化や墨の潤渇などについて理解している。(知識) a:色紙作品における漢字仮名交じりの書を表現するための技能を身に付けている。(技能) b:色紙作品における漢字仮名交じりの書の効果的な構成を考え、個性豊かな表現を工夫している。 c:色紙作品における漢字仮名交じりの書の表現や鑑賞に主体的に取り組んでいる。	作品	ワークシート 相互批評 作品	ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度